



愛しい命の
未来を変えよう、
私たちの手で。

殺処分ゼロを目指して。 9/20～9/26は、動物愛護週間です。

人と動物がともに暮らせる徳島づくりを目指し、
「動物愛護管理センター」では放浪犬の管理・収容をはじめ、
飼い主や一般の方々に向けての相談受付や啓発活動などを行っています。
2003年の開設以来、犬や猫の殺処分頭数は大きく減少してきましたが、
県ではボランティアと連携した県外への譲渡事業などを通じて、
さらにその数をゼロに近づけるために取り組んでいます。
人と動物が豊かに共生し、お互いに幸せな社会を築くために、
自分と動物の関わり方について、もう一度見つめなおしてみてください。

つなごう、命のバトン。

飼い主になった方からの
コメント



嬉しそうに近づいてきてくれる姿を見て、新しい家族になりたいと思いました。不安もありましたが、これから一緒に思い出を作っていきたいと思っています。

保護団体の方からの紹介で知り、捨てられた猫を1匹でも救いたいという思いで引き取りました。今ではなくてはならない存在です。



詳しくは
こちら



動物愛護管理センターでは、動物たちの飼い主を募集中です。
詳しくはWebサイトの「譲渡動物情報」をご覧ください。



昨年の「動物愛護のつどい」の様子

「動物愛護のつどい2025」開催

動物と楽しくふれあい、ペットとの関わりを学ぶ
「動物愛護のつどい」を開催します。
動物たちによる発表会や犬猫の譲渡会、相談
コーナーなど、多彩なイベントを通じて、動物へ
の理解を深めましょう。

●日時／2025年9月23日（祝）

【参加無料】

●場所／藍場浜公園（徳島市藍場町1-7）

●主な内容

- 専門学校生による動物発表会
- ワンちゃんの日常お手入れ教室
- 動物なんでも相談コーナー
- 犬猫の団体譲渡会



新時代へ
躍り出そう

令和7年9月号 No.454 発行：徳島県知事戦略局 〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL088-621-2020 FAX088-621-2820 E-mail our-toku@mail.pref.tokushima.lg.jp
人口 676,797人 男 323,814人 女 352,983人 世帯数 309,609世帯 [2025年8月1日現在]



9/20～9/26は動物愛護週間

動物たちとの未来のために、いま私たちができること。

動物たちの命を守り、ともに暮らせる環境をつくるために、
私たちに何ができるのか。動物愛護管理センターで主任を務める
藪内園子さんと、赤星啓さんにお話を伺いました。

「動物愛護管理センター」ってどんな場所？

動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護管理法）に基づき、各都道府県では動物愛護センターを設置し、動物愛護管理担当職員を配置しています。

動物愛護管理センターでは、県民の安全や公衆衛生に基づいた「動物管理事業」と、人と動物のより良い関係づくりに向けた「動物愛護事業」を行っています。すべての施設が入場無料なので、ぜひご利用ください。



●ドッグラン

溜池を改修した自然あふれるドッグラン。飼い主や愛犬たちの交流の場となっています。登録後、無料で自由に使うことができます。



●ふれあいサークル

親子で楽しく参加できる「動物ふれあい教室」（第2・第4土曜日 午後1時15分～）や「しつけ方相談」（第3日曜日 午前10時～）を開催しています。

●動物管理事業

- 放浪犬の収容・保護
- 負傷動物の保護と治療
- 動物取扱業の登録
- 収容動物の返還 など

●動物愛護事業

- 動物愛護の幅広い啓発
- 動物ふれあい教室の開催
- 夏休み1日体験教室の開催
- 犬のしつけ方や動物飼養の相談
- 飼い主をさがす会・講習会の開催 など

ルールを守ることが、大切な命を守る一歩になる。

命のバトンを みんなでつなぎたい

神山町にある「徳島県動物愛護管理センター」は、動物の愛護や管理に関する法律に基づき、徳島県が運営する施設です。動物の保護や譲渡、愛護活動などを通じて、「人と動物がともに暮らせる徳島」の実現を目指しています。



徳島県動物愛護管理センター主任の、藪内 園子さん(右)と赤星 啓さん(左)。

「狂犬病予防法や公衆衛生の観点から、どうしても放浪犬の保護・収容や遺棄された犬猫の引き取りが必要になります。そうした動物たちの命を救うため、近年は県外への譲渡事業にも力を入れています」
そう語るのは、同センターの藪内園子さんです。センターが開設された2003年には、犬猫の処分合計頭数が1万頭を超えていましたが、近年では約300頭にまで減少しているといいます。

「ここまで減らすことができたのは、行政の取り組みだけでなく、ボランティアの方々の協力や県民の皆さんの意識向上によるものです。しかし、徳島は野生動物が暮らしやすい温暖な地域であることに加え、野良犬へ餌を与えたり、飼い犬を放し飼いにする方もいることで野良犬が増え、その結果、犬の殺処分頭数は全国でもワーストクラスです。今まで以上に啓発活動を強化し、『殺処分ゼロ』に向けて取り組んでいきたいと考えています」

同センターでは、譲渡会や、ボランティアとの協働による譲渡事業を通じ、県内で保護された犬猫の譲渡を全国へと拡大。人と動物のより良い未来に向け、命のバトンをつないでいきます。

無責任な行動が 動物の命を奪う

動物たちの大切な命を守るために、私たちにできることは何か。その答えを、同センターの赤星啓さんは次のように語ります。「犬や猫を飼っている方は、最後まで愛情と責任を持って飼うことが求められます。また、飼い主のいない犬や猫については、無責任な餌付けによって増やさないことが何より重要です」

「かわいそうだから」という理由で餌付けをすると、動物たちが繁殖し、畑を荒らしたり人に危害を加えたりするケースが増え、結果としてセンターに保護・収容されることにつながるといいます。

「野良犬を見つけたら、まずは所管の保健所や当センターに連絡してください。人に慣れるための訓練を行う」

不幸な命を増やさないために



無責任にエサをあげるのはやめましょう。
餌やり行為により野良犬が増えます！

人々や畑などに危害を加える
エサを与えると、居着く
オスとメスが出会い繁殖する
繰り返して状況が悪化！

「野良犬を見つけたら、まずは所管の保健所や当センターに連絡してください。人に慣れるための訓練を行う」

「私たちが願うのは、飼い主のいない犬や猫が1匹でも少なくなることです。愛情いっぱい育てられた動物が、飼い主と幸せを分かち合う姿をもっと増やしていければ」とお二人。

一人ひとりが意識を高め、最低限のルールを守れば、人と動物の未来はもっと輝くはずです。

犬を飼う上で守ること

- 【国の法律】
- 犬を市町村に登録し、鑑札をつける
 - 年1回・狂犬病予防注射を受け、注射済票をつける
- ※違反すると20万円以下の罰金が課される事例も！
- 【徳島県の条例】
- 公園や河川敷を含め、必ずリードをつけて散歩する。



ペットと防災

災害時のペット対策ガイドラインを策定しました

災害発生時には、飼い主が自身の安全を確保した上で、ペットとともに同行避難をすることが基本です。避難所への同行や在宅避難などを想定し、日頃から準備をしておきましょう。

●災害前の対策(一例)

- 人やほかの動物を怖がらないようにしておく
- ペットフードやトイレ用品などの確保
- 各種ワクチンの接種や寄生虫の駆除
- 身元証明のマイクロチップを埋め込む など



●災害時の行動(一例)

- ペット用の避難用品を持って避難所へ向かう
- 避難所のルールに従って世話をするなど

詳しくはこちら



1匹でも多くの命を救うために



徳島県における犬猫の殺処分状況(自然死含む)

県民の方々や警察、市町村等からの収容依頼を受けることにより、動物愛護管理センターが「狂犬病予防法」および「徳島県動物の愛護及び管理に関する条例」に基づいて、捕獲収容・保護を行っています。

近年の犬猫の殺処分頭数は徳島県動物愛護管理センターの開設当初(平成15年)の3%にまで減少しています。

【問】徳島県動物愛護管理センター ☎088-636-6122 ☎088-636-6123

詳しくはこちら



クイズ&プレゼント

9/20～9/26は〇〇愛護週間
〇に入る文字は何でしょうか。

抽選で5名様

●プレゼント

【新米】あぎさかり2kg

[提供] JA全農とくしま

徳島県的水稲奨励品種であるあぎさかりは、程よい粘りとほのかな甘み、食味の良さに加え、やや大粒で粒感があり白度が高いお米です。おにぎりや炊き込みご飯にするとふっくらとして美味しくいただけます。今年も新米が出ました、ぜひご賞味ください。

●応募締切

9月24日 必着

8月号の正解は「マッチ」でした。

●応募方法 答え、住所、氏名、年齢、感想、取り上げて欲しいテーマなどを記入の上、はがき(宛先は「県知事戦略局クイズ&プレゼント係」)、Eメール(宛先は表紙下部に記載)、または県公式LINEのメニューからご応募ください。



応募はこちら

がん検診、歯科健診を受けましょう！

日本では「2人に1人」が、がんになります。徳島県でも毎年約6,000人が「がん」と診断されています。しかし、「がん」は早期発見・早期治療で生存率が高くなります。9月は「がん征圧月間」です。「怖い」「面倒くさい」「自分は大丈夫」と言わず、**自分のため、大切な家族のためにがん検診を受けましょう！**
そして、いつまでも健康的な生活を送るために、**歯科健診**も定期的に受けましょう！

●がんを早く見つけるために
徳島県のがん対策関連情報

●徳島県職域がん検診
受診体制整備奨励金について

●歯科定期健診のすすめ
徳島県口腔保健支援センターより

【問】県健康寿命推進課 ☎088-621-2223 ☎088-621-2841



「徳島県がん征圧共同宣言(R7.7.2)」を行いました！



熱狂の2日間がやってくる！ 徳島おどりフェスタ 2025 開催決定！

●開催日／2025年11月1日(土)、2日(日)

●場所／徳島市・新町橋通り周辺

有名による圧巻の阿波おどりはじめ、「ふるさとカーニバル阿波の狸まつり」のほか、食やスポーツなど周辺の様々なイベントと連携します。サンリオの人気キャラクターによるスペシャルパレードや、眉山上空を彩る幻想的なドローンショーも予定しています。新たなコンテンツが決まり次第、順次お知らせしますのでご期待ください！

●11/1(土)
阿波おどり(舞台おどり)
●サンリオキャラクター・グリーディング
●ドローン・ショー

●11/2(日)
阿波おどり(流しおどり)
全国阿波おどりコンテスト
●サンリオスペシャルパレード

【問】県観光企画課

☎088-621-2342 ☎088-621-2851

※写真はすべてイメージです

詳しくはこちら

見える言葉で、もっと近くに。

徳島県手話言語条例が制定されました

手や指の動き、表情、体の動きなどで意思を視覚的に表現する「手話」は、大切な言語の一つです。県では、ろう者とろう者以外の方が互いに理解し、尊重し合いながら安心して暮らせる共生社会の実現に向け、今年3月に「徳島県手話言語条例」を施行しました。この機会に、それぞれの立場で「手話」という言語にふれ、より豊かに暮らすための一助につなげてください。

※ろう者…聴覚障がい者のうち、主に手話を使用して生活している人

よろしくおねがいします



- ① 右手のこぶしを鼻先に当てる
- ② 右手のこぶしを開きながら前に出し、軽く頭を下げる（お願い）

条例の主な内容

「徳島県手話言語条例」の概要をまとめました。それぞれの立場で、できることからはじめてください。

●それぞれの役割及び責務

県の役割	手話に対する理解の促進や普及のための施策を推進し、手話を必要とする方が使いやすい環境を整備する
県民の役割	手話に対する理解を深めるよう努める
事業者の役割	手話に対する理解や普及のための県の施策に協力するよう努める
ろう者等の役割	県民の理解を増進するため、言語としての手話の普及・啓発を行うよう努める

●手話を学ぶ機会の確保

- 県民が手話を学ぶ機会の確保を図る
- 県の職員が手話を学ぶ機会を確保する

●学校における取組

- ろう児等が通学する学校の、教職員の手話に関する知識・技能の向上に努める
- ろう児等やその保護者等が手話を学ぶ機会の提供や、教育に関する相談体制の整備等の必要な支援を講ずるよう努める
- 学校教育で使用することができる手話に関する資料の提供等、必要な支援を行う

●事業者への支援

- 手話の使用に配慮したサービスの提供や、手話を使用しやすい職場環境の整備に関する取組を行う事業者に対し、情報の提供や助言等の必要な支援を行う

聴覚障がいについて知ってほしいこと

耳が聞こえない、聞こえにくい人のことを「聴覚障がい者」と言います。「まったく聞こえない人」や「小さな音が聞こえない人」、「音は聞こえても何の音が分からない人」など、程度や聞こえ方は人それぞれです。

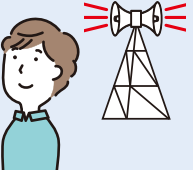
●外見から障がいが分からない

困っていても気づいてもらえなかったり、「無視された」と誤解されたりすることがあります。



●音の情報が分からない

自転車や車の音、非常時のサイレンや警報など、日常生活に必要な音が聞こえないことがあります。



●周囲とのコミュニケーションが難しい

地域や家庭、職場など、日常生活や社会生活で孤立しやすい状況になることがあります。



コミュニケーションをとるには？

聞こえなくなった年齢や状態によって、聞こえ方の程度やコミュニケーション方法は異なります。その人に合った方法で話しかけることが大切です。

手話

手指の形・位置・動きや顔の表情などで伝えます。



筆談

紙や手のひらに文字を書いて伝えます。



空書

空中に文字を書いて伝えます。



口語・読話

分かりやすい口の動きで伝えます。



鳴門高校サインランゲージ部の皆さんと、手話をわかりやすく伝えるための動画を作成中!



徳島を舞台とした小説『音のない理髪店』

日本で最初の聾学校の理髪科を卒業し、「ろう理容師」をしていた著者・一色さゆりさんの祖父をモデルにした物語。時を超えて人の思いが繋がっていく、感動の一作です。



一色さゆりさん（撮影：森 清）
出版：講談社

【問】県障がい福祉課 ☎088-621-2238 ☎088-621-2241

とくしま「手話の日」2025

参加無料

「よしもと手話ブ!」の芸人たちも参加!

手話言語の国際デー（9/23）に、楽しく手話にふれられるイベントを開催！吉本芸人（よしもと手話ブ!）によるお笑いライブや聴覚障がい者等によるパフォーマンスステージ、ブルーライトアップ点灯式などを通じて、手話への理解を深めましょう。

【問】県障がい福祉課 ☎088-621-2238 ☎088-621-2241 交通アクセスはこちら

日本初! 東京2025デフリンピック開催!

「きこえない・きこえにくい人」のためのオリンピック「東京2025デフリンピック」が、100周年記念大会として日本で初めて開催されます。東京2025デフリンピック応援隊の徳島県マスコットキャラクター・すだちくんと一緒にデフアスリートたちを応援し、4年に1度の大会を盛り上げましょう!

【問】県スポーツ振興課 ☎088-621-2113 ☎088-621-2819

開催期間／2025年11月15日～26日

競技会場
東京都内会場、福島県、静岡県

参加国／70～80カ国・地域

選手数／約3,000人（競技数：21競技）

大会特設サイト
詳しくはこちら

あわとくVOICE

● 徳島の食から遊びまでたくさんの情報が盛り込まれていて、県外の方に説明するのに役立てる事ができました。（50代） ● 徳島マッチボックス利用してみたい。（50代） ● 中央病院のクレジット払いの情報ありがとうございます。早速、使ってみようと思います（40代）

「クイズ&プレゼント」は中面に移動しました。➡